

がん情報総合サイト『大阪がんええナビ』の利用者ニーズに即したリニューアル

大阪がんええナビ制作委員会 代表:濱本満紀

【背景/目標】“市民・患者目線による市民のための総合的ながん情報ポータルサイト”を標榜し、2011年3月1日に公開した『大阪がんええナビ』は、平均月間5000アクセスを数えるに至った。また、大阪府立成人病センター予防情報センター、拠点病院がん相談支援センターや、行政等との相互リンクが進み、医療相談対応・情報提供に活用しているとの評価を多く得られるようになった。そこで、更に多岐に渡る情報提供を目標とし、利用者ニーズを反映した新規カテゴリーの構築と現カテゴリーの改訂に着手した。

【内容】新規カテゴリーとして、①二次医療圏と市町村の情報をマッチングさせた『エリア別がん情報』、②最新ニュースへリンクする『がん関連ニュースヘッドライン』を構築。また③大阪府立成人病センター『臨床試験情報検索システム』等への新規リンク。既存カテゴリーではイベント案内・お知らせのトップ掲載数やコラム執筆者の層を拡大。facebookやTwitterとの連動、等のリニューアルが2月に完了。3月以降、2011年度現況報告を用いた“よく分かる！大阪のがん診療NOW”へのリンクと『大阪がん診療スピード検索』最新版の作成作業を進めていく。『～スピード検索』では、同報告の別紙を活用し、新たに拠点病院の緩和ケア・相談支援・地域連携の対応状況を検索できるようにする。これらにより、情報の網羅性、即時性を高めていく。

【課題と展望】データを紹介するにあたっては、その信頼性や客観性を損なわず、閲覧者をミスリードしないよう解説を加えるなど、今後も注意を払って行く。患者側の得た情報が、医療者とのより良いコミュニケーションツールとなることをめざす。